

(3) 有収率の向上に向けた取り組みについて

【現在の有収率】

- 令和5年度の有収率は74.55%となっており、昨年度と比較して1.13%低下しております（目標値は2038年までに80%）。

○ 過去の有収率

令和元年度 78.45%

令和2年度 77.85%

令和3年度 77.03%

令和4年度 75.68%

令和5年度 74.55%

【低下の原因】

- 簡易水道事業にて布設した配水管が多く、その大部分が耐用年数を超過している。
- 簡易水道事業にて布設した配水管が台帳とずれた個所に布設されている配水管が多い。
- 簡易水道事業にて布設した配水管が民地に布設されている箇所があり、その多くがどこに埋設されているか不明。

【課題】

- 配水管の布設替えを行うには、工事費が高額になり工事の進捗が進まない。
- 耐用年数が過ぎている配水管が多いので、漏水管の修繕を行って行くが、別の個所で漏水が発生してしまう。

【今後の対応】

- 補助事業等を活用しながら耐震管により配水管の布設替えを行う。
- 漏水調査を行い、漏水修繕を行う。
- 水道台帳のデジタル化（配水管の現地調査等を行い台帳の精度を高める）を行う。